

寺報

No.645

令和3年5月

蓮華寺
發行

御聖訓

或あるは少すこし信しんずる様ようなれども、又また
 悪あく縁えんに値あて信しん心じん薄うすくなり、或あるは打う
 ち捨すて、或あるは信しんずる日ひはあれども
 捨すつる月つきもあり。是これは水みづの漏もるが
 如ごとし。

『筒御器鈔』



(解説)

「仏縁があり、これから法華経を一生懸命に信仰しようとする人が、ひとたび悪縁に値うと、その信仰が薄れたり、また捨てたりするものである。たとえ信ずる日があっても、捨てる月の方が多いのであれば、それはあたかも器から水が漏れるように我々の煩惱を清める御法水も、我々から漏れていつてしまうものである。」

世の中には『何も日蓮宗でなくとも、何宗を信仰しても変わりないだろう』『お金があれば別に信仰しなくとも生活が出来るだろう』『いちいちお守りを持たなくても生きていけるだろう』と、様々な事をいつては、人を惑わす者もいます。

これらの者にたぶらかされ、仏教の真髄であります法華経の信仰をやめたり、また信心をおろそかにする人達がいかに多い事でしょうか。

日蓮大聖人はこのお言葉で、それらの人達を「いましめ」また注意を「うながし」ているのです。

我々日蓮宗の信徒の信仰とは、決してそのような弱いものであつてはいけません。

常に不退転の心を持ち、法華経を命懸けで信仰していかなければならないのです。

五月十三日(木)

午後一時より

於：大本堂

釈尊御降誕会 (花まつり)



*お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。
*皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。
*お供物も受け付けています。

『お釈迦になる』とは？

昔、東京の人達は何か物がこわれた時に『おしゃかになる』とっていました。

この言葉は、特に鉄などから器を作る鑄物業者いものの間で使われていたそうです。

それは、鑄物を作る時の火が強すぎる事を、お釈迦様の誕生日の【四月八日】にシヤレたのだといわれています。

つまり「火が強か」(ひがつよか)を「四月八日」(しがつようか)と語呂合わせしたものと思われま

すが、その仏様の大親分がお釈迦様だから、それを引用して、「あくあ、あいつもついにおしゃかになつちやつた。」というようになったのです。

いずれにしても、お釈迦様にとりましては、あまり良い使われ方ではないようですが。

龍神様

古来より、我々に不可欠な水を支配し、更に大地に潤いをもたらす豊饒の主と考えられました『龍神様』は、蛇を神格化したものといわれます。

それは、水の象徴を現わす川がへびのように曲がりくねっていく、いわゆる蛇行から『龍神様』のお姿を想像したものと思われています。

特にインドでは、地上・水中・空中を司どる神様といわれ、仏教を守る八部衆の一人として大切にお祀りされています。

また、中国ではめでたい想像上の動物の一つとして龍を大切にし、更に雲を起こし雨を呼ぶお力があるという事で、火を封じ我々や建物などを火難から守ってくれる守護神としてもあがめたのです。

当山にお祀りされています『龍神様』も昭和二十年八月の青森空襲の時、そのお力を現わしました。

それは、空襲の数日前から当山の庭の池の水が突然あふれ出すという不思議な現象を起したのです。

これは、何かの前ぶれではないかと思っていた矢先、

青森市は米軍から空襲に襲われ、市内は一面焼け野原となつてしまつたのでした。

当然お寺もいくつかの焼夷弾が当り、火の手が上がる状態でしたが、そのあふれ出た水のお陰で大本堂や他の建物も火災から救つてくれたのでした。

しかし、こういう素晴らしいお力を持ちます『龍神様』も、そのお力が偉大な為に、若し粗末に扱つたりしますと、容赦なく大雨・大洪水などをもたらし、自然を破壊してしまうという怖い面も備えています。

ですから、この水を司どる『龍神様』はしっかりと大事にお祀りしていかなければならないのです。

以上の事から、仏教の守護神である『龍神様』が、寺院の天井・欄間・柱などに

巻きつけられたり、また池・川・水の神として祀られるようになったのは、イ

ンドを源流としながらも、龍を尊ぶ中国からの影響が

強かつたのではないでしようか。



檀信徒研修会のお知らせ

☆五月二十九日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(イス席です)

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

(注)研修会は休まず行いますので、ご参加は各自ご自由に自己管理のもとご参加下さい。

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方は、数がある限り無料でお譲り致します。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ますが、その際は必ずご連絡下さい。

蓮華寺 TEL 七七六一五八四〇

『蓮華寺聖徒団総会』

中止のお知らせ

今年度は開催する予定でした『聖徒団定時総会』は、まだ続きます新型コロナ感染拡大の影響で断念する事となりました。

どうしても参拝を受けてくれます寺院が見つかりませんでした。

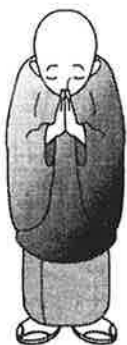
今年楽しみにしていた方々には大変申し訳なく、心からお詫び致します。

したがって、令和二年度の収支決算と令和三年度の収支予算は聖徒団の役員会の決議をもって決定させて戴きました事をご了承下さい。

なお決議されました報告書は、お寺の玄関の入口に置いてありますので、会員の方はご覧下さい。

聖徒団の会員は年々減りつつありますので、今後ともよろしくご協力願います。

新規会員を募集致します。



蓮華寺聖徒団

団長・角田 堯淳

役員一同

『靈断』のおすすめ!

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

『提灯』の急募!

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トローラー)を募集致します。

作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

「水子さん」のご供養

仏教では年令を用いる時には、必ず「数え年」を使いますが、これは我々が仏様より命を戴いて、お母さんのおなかの中に宿った時からの年を数終えるという意味です。

いかにお釈迦様が命の大切さ、命の尊さを大事に説かれたかがお分かりになると思います。

ですから、仏様から戴いた尊い生命を親の意志で絶つてしまうという事は、決して許されないので、若しその子の前後に兄弟があり、両親に愛情いっぱい育てられたとしたら、同じ命をもらいながら日の目を見られなかった子供達は、余りにもかわいそうではないでしょうか。

そこで、当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に、境内に『観音像』を安置しています。

そして、この『観音像』の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来るようになっていきます。

その「法名紙」に、各自で「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」などをお寺で書き入れてもらい、奉納して下さい。

その供養の方法は

★本堂で法要を行いご供養した後、「法名紙」を観音像の中に奉納する場合。 【二万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する場合。 【二万円】

となっております。

②どうしても本人が立ち会えない場合は、お寺で読経後奉納します。

詳しくは当山にお問い合わせ下さい。

更に供養の方法として、『水子観音像』専用の「風車」も用意しております。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養・祈願】が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

どうか、檀信徒の皆様も生きている子供達と同様に、亡くなられた子供達にも精一杯の愛情を注がれるようお願いします。

五月の行事

一 日(土) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(木) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日(木) 釈尊降誕会【花まつり】 午後一時より

十六日(日) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

十九日(水) 龍神様・七面様大祭 午後一時より

二十九日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

十三日(木) 花まつりの準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十一時より

※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。

どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願い致します。

十九日(水) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十時より

※当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行っていますので、お手伝いをよろしくお願致します。

奉仕部長・山田兼補 教宣部長・杉淵昌三

伝道部長・小野正春

☆十三日(日蓮大聖人の月命日)の

お勤めには必ず参拝しましょう!

毎月十三日 午後一時より

龍神様・七面様大祭

五月十九日 (水)

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女

- * 龍神様・七面様の^{ごしんたい}御神体、掛軸の御法楽 (二千円)
- * 一般御法楽 (千円)、祈願 (八百円)
- * お供物も受け付けています。
- * 祈願・御法楽をお申込みの方にお札^{ふだ}を差上げます。